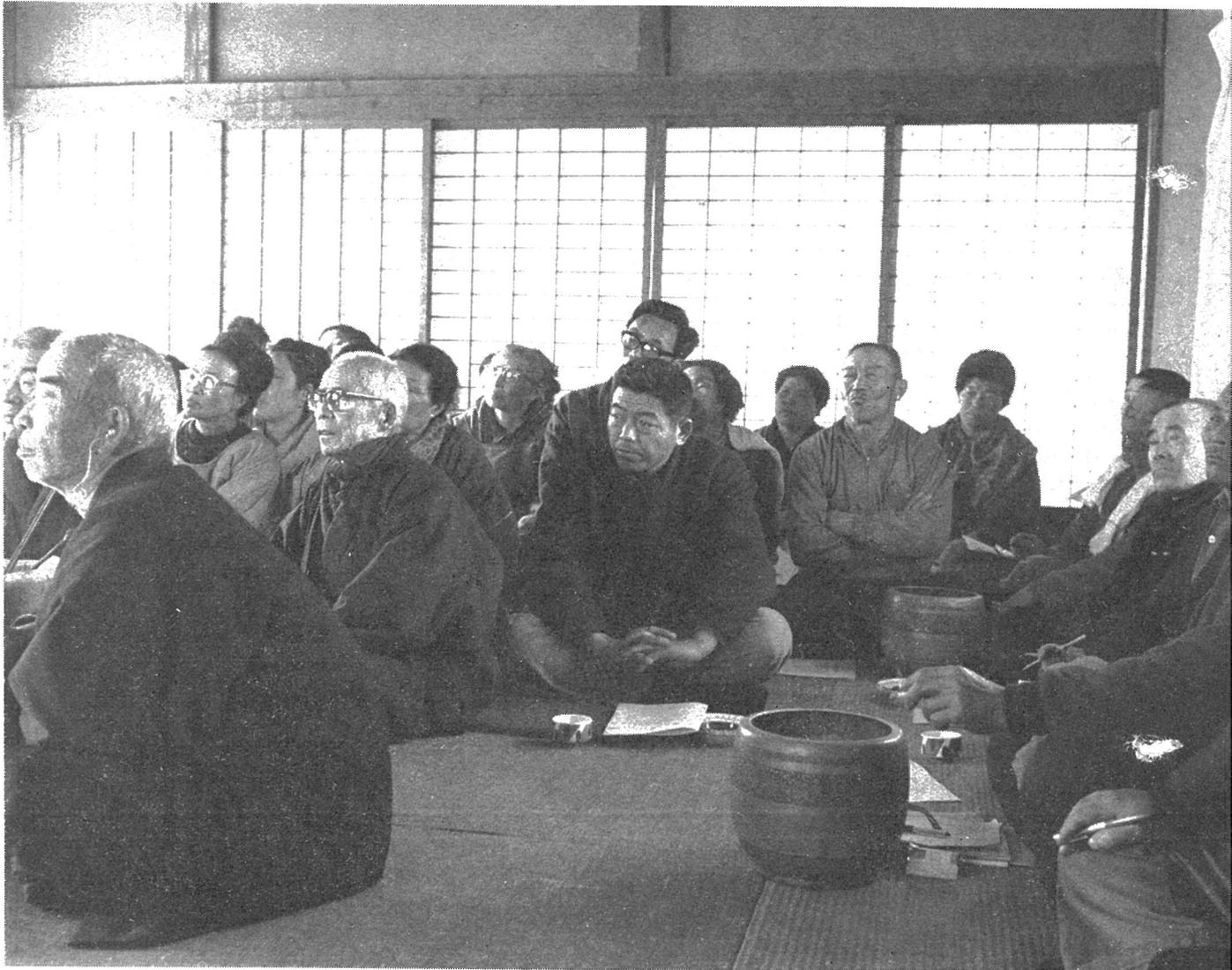


広報 のあさひ

No. 173

昭和46年4月10日



《住民の声を町政に》

今年は過疎地域の指定、あるいは広域市町村圏の指定などともなつて、これからの町づくりをどうするかと言つた基本的な10カ年の振興計画をつくらなければならぬ大切な年に当つている。

それにしても、住民の卒直な要望や意見、アイデアといったものを十分に取り

あげ、計画の中に反映させる必要があるということで、さる3月23日から5日間町内各地区で町政座談会が開かれた。どの会場でも多数の人たちが出席し、道路整備や米の生産調整、あるいは福祉問題など、活発な意見や要望が次々と出されていた。

《写真は四の沢会場で》

新しい町づくりスタート

新年度
町予算

5億3千9百14万4千円

一般
会計

◎**県支出金** 六千百一十萬一千元
これは町が行なう事業に対して補助金などの形で県から交付されるもので、半分以上が開発センターに対する県補助金で占められる。

◎**町税** 九千四百七十九萬円
はいってくる金の一七割強を占めております。このうち町民個々が納める税金としては固定資産税、町民税など四千数百万円、約半分であり残りは発電所などの固定資産税、償却資産税、たばこ消費税などで占められております。

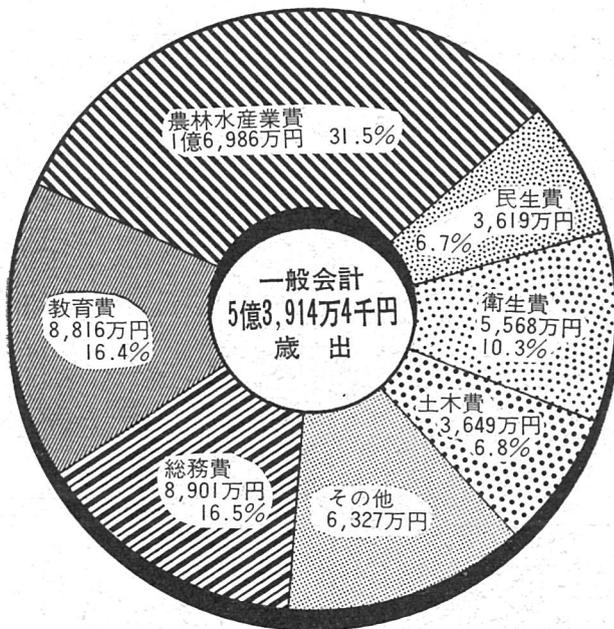
◎**地方交付税** 二億四千萬円
総額の四四・五割と、歳入の方ではもっとも大きな割合を占めております。これは町の財政実情に応じて国から交付される金で、昨年よりも四千四百万円ほど多く見込んでおります。

おもな歳入

一般会計

昭和46年度の町予算をきめる3月定例町議会は、3月10日に召集され、新年度の一般会計予算をはじめ各特別会計予算、および45年度の補正予算案など14の案件を4日間にわたって審議、それぞれ可決して13日に閉会しました。

とくに新年度の一般会計予算は5億3千9百14万4千円という今までにない大型予算になっております。財政事情はいぜんとして苦しい状態ですが、開発センターの建設、林業構造改善の実施、各種道路整備事業、福祉行政の充実など、新しい町づくりのための施策が多くもこまれております。つきにそのおもな内容を紹介してみたいと思います。



◎**町債** 五千二百萬円
町が事業を行なうための国やその他の機関からの借入れ金で、開

◎**国庫支出金** 二千五百二十四萬五千円
県支出金と同じように、事業に対する国の補助金、委託事務に対する事務費交付金などがおもなものです。

◎**財産収入** 三千三十四萬九千九百円
町有財産の運用による収入、財産売払代金などが見込まれております。

◎**分担金及び負担金**
一千六十五萬一千元
事業実施にともなう地元負担金などで、保育料の父兄負担金六萬円、林業構造改善事業の地元負担金四百三十四萬円などがふくまれております。

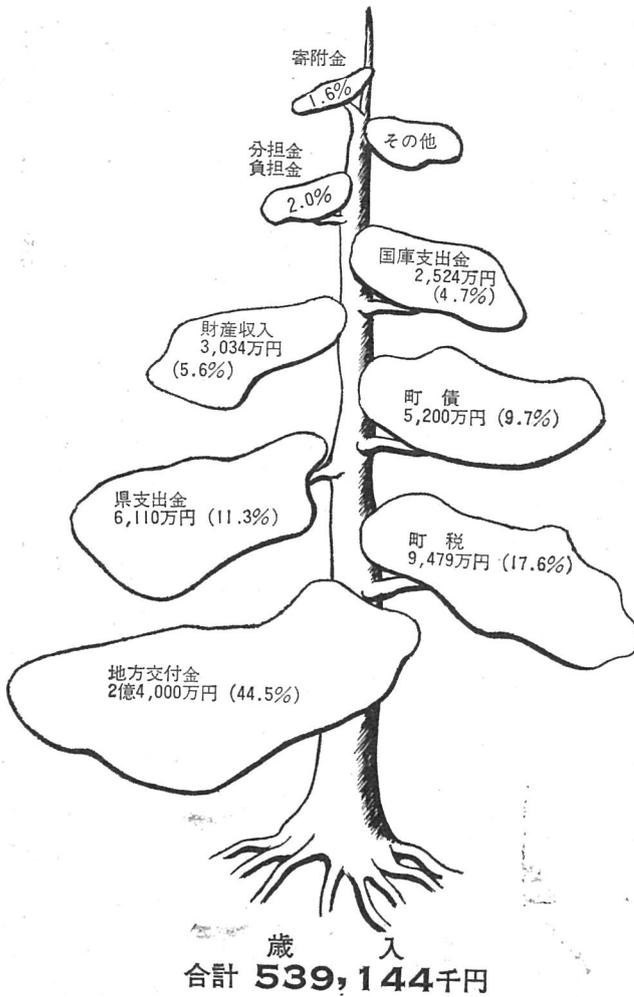
◎**その他** 二千四百九十九萬九千九百円
その他の中では、町有ブルドーザーの使用料、戸籍住民登録など諸証明の手数料、胃腸病検診など各種検診の手数料、予防接種の材料、自動車取得税交付金、寄附金、繰越金、諸収入などがふくまれております。

出て行く金

▽**農林水産業費**

一億六千九百八十六萬三千円
歳出総額の三一・五割を占めており、部門別ではもっとも大きな割合となっております。この中には開発センターおよび庁舎建設事業費の一億一千万円がふくまれております。そのほかでは、林業構造改善事業二千三百十五萬円、米の生産調整、構造改善など農業振興対策費が四百六十萬円、牧野造成、貸付牛購入など畜産振興対策事業費の五百八十六萬円、栗木沢〜大谷間の農免道路、農道舗装など農地振興対策事業費の三百八十萬円などがおもなものです。

▽**総務費** 八千九百萬円
これは役場を維持管理するため



の費用が中心になっており、区長報酬、職員の給料、消耗品費や光熱水費などもふくまれております。そのおもなものは、一般管理費の五千二十七万円、文書広報費の百四十四万円、財産管理費の二百九十二万円、職員の退職手当組合への負担金六百四十万円、税務関係である徴税費が千四百二十四万円、戸籍住民登録費六百四十四万円、選挙費の三百九十四万円、統計調査費の百五十五万円といったものがあげられます。

各小中学校の運営費、教材購入費、寄宿舎費、各種負担金、学校給食費、公民館、社会体育などの社会教育費といったものがふくまれております。

おもな事業費としては、大舟木分校および立木小学校のプール工事費七百九十二万五千円、各小中学校に石油ストーブを購入するための費用二百一十一万円、西部公民館敷地整地に三十五万円といったものがもられております。

この費用のおもなものは、共立衛生組合の負担金五百四万五千円

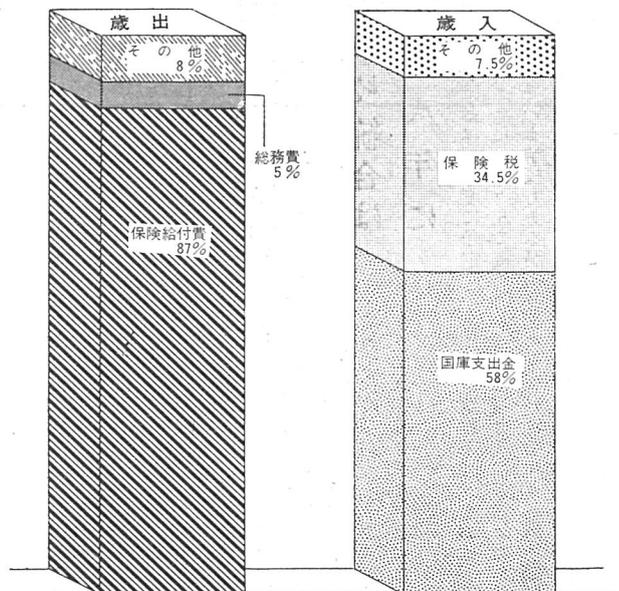
△教育費 八千八百十六万三千円
職員給料など教育委員会の費用一千五百七十六万円、そのほか

△衛生費 五千五百六十八万三千円
この費用のおもなものは、共立衛生組合の負担金五百四万五千円

△土木費 三千六百九十四万七千円
このおもなものは、町道水口〜新崩線道路改良のための費用八百二十万円、宮宿地区の都市下水路工事のための費用七百万円のほか公共町単独など道路改良事業の費用などがあげられます。

△民生費 三千六百十九万五千円
これは社会福祉、国民年金、児

国民健康保険会計予算



童福祉、生活保護などの費用がおもなものです。が、事業費としては地すべり地区家屋移転補助三十万円、子どもの広場遊具購入費四十二万円、ねたきり老人のための寝台購入費九万三千円などがもられております。

△公債費 二千四十八万三千円
これは、今まで事業を行なうために町が借り入れた借金を返すための費用で、元金、利子などがおもなものです。

△消防費 千三百四万一千円
団員の報酬や消防施設の整備費がおもなものとなっております。

事業費としては、常盤の自動車ポンプ購入費三百万円、貯水そう、ポンプ庫などの整備費二百九十九

万一千円がもられております。

△その他 二千九百七十五万二千円

その他には議会費一千二百九十三万円、労働費三十六万五千円、商工費七百四十八万一千円、災害復旧費九十七万六千円、予備費八百万円などがふくまれております。

おもな事業費としては、事業所設置奨励のための補助金五十万円、上郷ダム公園造成のための費用百五十万五千円、町道一ツ沢線、沢内線、三中線などの災害復旧費九十七万六千円がもられております。

以上が歳出のおもな内容ですが特別会計である水道事業会計、病院企業会計の予算については次号で紹介いたします。

町長の施政方針説明

今年 は 計画 づくり の 年

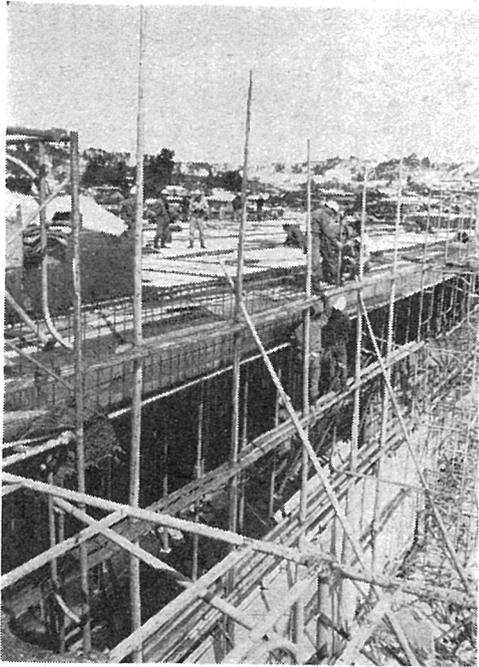
ことしの一般会計の予算は総額で五億三千九百余万円という大きな規模になりました。予算編成の方針としては、需用費や役務費などの消費的経費をできるだけ少なくし、投資的経費に向けるようにいたしました。

収入の面では、町民税の税率を引き下げたほかは地方交付税、国県支出金、町債、財産収入などの伸びを見込んでおり、歳出の方では開発センターの建設を中心として、道路交通網の整備、農林業の振興、過疎対策のための諸事業をもちこんでおります。とくに今年には広域市町村圏の指定、過疎地域の指定、農業振興地域の指定などにもなっており、町の基本構想、十カ年の振興計画の作成を急がなければなりません。計画づくりには部内の事務態勢をかためており、部落座談会を開いて広く住民の意見なども聞いて、よりよい計画をつくりたい考えです。

開発センターは

十月に完成

ところで、部門別の事業について主なものを申上げてみたい



と思います。まず、もっとも大きな割合になっている農林水産部門では、開発センター及び庁舎建設のための費用として一億一千余万円を予算化しました。工事の方も現在順調にすすんでおり、十月の末頃までには完成するものと思われまます。また米の生産調整に百万円、第二年度を迎えた林業構造改善事業に二千三百余万円を予算化しております。とくに米の生産調整については、昨年の国に対するわれわれの要求が受け入れられなかったというこうした状態の中で、しかも昨年の二・二倍という減反には応じられないという態度でできております。ただ、多くの米が余っている、需要供給のバランスが大きく崩れている、売れない米を作ってもどうにもならないという現実を目をそむけることはできない

だろうと思います。そうしたことから、示された数量はあくまでも努力目標という考えで、地区協議会や座談会を通して、協力をお願いする考えです。やはり、これからの町の農業をどうするのかといった問題とあわせて対処しなければならぬと思います。そのためにも農振にもとづく線引きを急ぐべきであらうと思います。

栗木沢地区に 農免道路

その他、栗木沢の農免道路開設に百二十万円、白倉・杉山に牧野造成するための費用として二百八十万円、畜産増殖団地貸付牛購入費として三百万円、農道舗装など助成金として二百万円といったものを予算化しており、農業の

振興をはかって行く考えです。

重点施策である道路交通網の整備については、できるだけ公共事業を誘致する考えですすめております。大蔵線の送橋地内は引続き工事が行なわれるし、国道の和合大滝・杉山の各地内の舗装も進行される予定です。また白滝線の太郎地内、立木地内でもそれぞれ道路改良が行なわれます。町道では、水口へ新崩線の特一改良として八百二十万円を予算化しているほか、下宿線、水本線の改良もすすめます。

福祉関係では、母子の健康を増進するためにミルクの無料支給を考えているほか、保育所の充実、老人福祉対策の充実も考えております。

教育関係では、立木小・大舟木分校にプールを建設します。さらに各小中学校のストープを購入する予定で二百万円ほど予算化した

しました。また西部公民館前の敷地整地費、朝日音頭の普及費などももちこんでおります。

その他では、杉山水道工事費として七百五十万円、上郷ダム公園整備に百五十万円、都市下水工事に七百万円、常盤の自動車ポンプ購入に三百万円といった予算を見込んでおり、共立衛生組合への負担金五百余万円、果実流通センターへの補助金百八十万円なども予算化を行なっております。

以上、昭和四十六年度の予算編成方針、予算のおもな内容について申し上げますが、先にもふれたように町の基本計画を作らなければならぬという重要な年でもあり、みなさんのご意見を吸いあげながら、役場の総力を結集して、立派な計画作成にあたる考えであります。尚、予算の細部についてはご質問などによってお答えしたいと思っております。

一般質問から

中学校統合は

四十八年に

中学校の統合は何年度に予定しているのか。また、複々式で授業が行なわれている学校もあるが教育上問題はないのか。

教育長 中学校の統合については

前に町報にも出しているが、昭和四十八年には形式的な統合を行ない、昭和五十年には実質統合にもって行きたい考えです。したがって新校舎は、おそくとも実質統合までには完成させなければならぬと思います。また、小学校の方も年々児童数が減っており、複式あるいは複々式の学校にならざるを得ないわけです。教育上問題はないかというご質問ですが、それはこうした正常でない教育のしか



【「道路網の整備、農業の派興、福祉行政の充実を今年の重点目標にす
すめたい。とくに町の基本計画づくりには町民の意見を十分に取り入
れて行きたい……」と答弁に立つ志藤町長】

たには当然問題があるわけで、どうやったら教育効果を落さないでやれるか十分考えて行く必要があると思います。さらに、幼児教育のあり方をどうするかといったこととあわせて、将来は小学校の統廃合なども考えて行かなければならなくなるだろうと思います。――事務職員が配置されない学校に対して、町と学区の負担で職員を雇いあげているが、学区負担も

容易でない。町費で雇いあげる考えはないか。教育長 現在一名の事務補助を置いてやっているが、効果はあったと思います。今年も過疎対策の一つとして一名増員される見通しですが、学区負担はお願いしなければならぬようです。しかし、四十七年度からは町費で雇いあげるようにしたいと思えます。

道路網の整備すすめる

――町長は道路交通網の整備促進を施策の柱にかかげているが、今後の整備計画についてお聞きしたい。また農道舗装はどんなすすめ方を考えているのか。

町長 一般町道については、う回路としての水口、新崩線の改良を考えております。農林関係では栗木沢、大谷間の農免道路、石須部と松程地区にそれぞれ林道をつくるほか、農道の舗装についても四割の補助を行なってすすめたいと考えています。ただ、要望があまりにも多く、一度に実施することはできないので、要望のあった地区と十分話しあって、年次計画でやりたいと考えて今年には二百万円だけ予算化しております。

――自動車の通行が多くなり、道路の痛みがひどくなっている。あまり悪くならない内に砂利敷きをやってほしい。また、道路整備用として小型ダンプの購入、あるいは土木専用のブルドーザーを購入配置する考えはないか。

町長 道路の整備には常に力を入れておりますが、すべてに満足されるようには行かないわけです。敷砂利もできるだけ要望に応えるようにしたい考えですが、悪くなつたから砂利を敷くというだけでなく、悪くなる前にお互いに道路を補修するように考えていた

たいと思えます。また、小型ダンプを購入してはとのご意見ですが車の維持費にもかなりの金がかかり、借上げてやった方が安くなるので、当分は今のままで進めたいと考えています。

建設課長 土木専用のブルドーザーをというのですが、難かしいようです。ただ、今年度で新しいブルを購入する考えでいるので、できれば古い方を道路整備用に使えるようにしたいと思えます。それから、敷砂利はできるだけ割砂利を使ってほしいとのことですが今後十分検討して要望にそうようにしたいと思えます。

――県道左沢、浮島線の改修が強く望まれるが、どうやって改修を促進させるのか。とくに観光循環道路としても重要な路線であり過疎対策の立場からも早急な改良整備が望まれるが、もっと強力に県当局に働きかけて行くべきではないか。

町長 たしかにご意見のように浮島線は町にとっても重要なわけですから。今までも改良を強く要望してきており、現在大谷地内で特一改良工事としてすすめられていますがそれを大沼の方に延ばしてもらう年度を早めてもらうように、強く働きかけて行きたいと思えます。

――国道で上郷方面は危険箇所が多く、舗装も進んでいない。ガードレールの設置とあわせて舗装改良を促進してもらいたい。町長 建設省の方にも危険箇所を

示して強く要望しております。和合地内、大滝、上郷、杉山地内の舗装は今年中に全線行なわれる予定です。

今後の町の農業をどうする

――米の生産調整では、昨年の二倍もの数字が示されているが、これをどうやってすすめる考えなのか、町長の基本的な考えをお聞きしたい。

町長 まったく困った問題です。地域分担の考えで生産調整をすすめるべきだ、といった要望も行なってきたが、結果的にはそれが取り入れられなかった。わたしとしては示された数字はあくまでも目標量、期待量だという考えで、町民の方々と十分話しあって進めて行きたいと考えています。ただ、減反には反対であっても、米が余っている、年々米の消費が少なくなり、需要と供給のバランスが大きく崩れているという事実を無視することはできないだろうと思えます。ただ反対するというだけで農家の幸せが得られるのであれば別だが……、やはり、自分みずからの問題として真剣に対処する考えが大切だと思えます。

集団で転作を

――昨年は食糧を守るためということで協力したが、実質的には守

【8頁へつづく】



大暮山公団分収造林
30万円

共立衛生組合負担金
504万5千円

(北部地区)
畜産増殖団地貸付牛購入
300万円

米生産調整特別対策事業
100万円

防火用貯水そう
(大谷他4カ所)
340万円

大谷
農免道路開設(栗木沢)
121万円

果実流通センター補助
180万円

和合
国道舗そう工事
(和合・大滝・杉山地内)

町道災害復旧工事
(沢内・三中・一ツ沢)
97万6千円

町道改良工事
(下宿・水本線)

県道改良工事
(送橋・大谷・太郎地内)

至大江町

至山辺

川

号

線

287

宿地内)
180万円

図で見る今年の町づくり

大沼浮島公園整備
107



牧野造成事業(白倉・杉山)
280万円



立木小・大舟木分校プール建設
792万5千円



林道開設(石須部)



林道開設(松程)

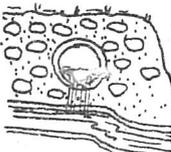


常盤自動車
ポンプ購入
300万円



最上

都市外水路工事(宮宿)



現庁舎



宮宿

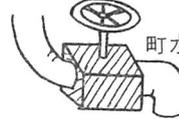
上郷ダム公園造成
150万円



上郷ダム

常盤

町水道拡張工事
630万円



国

道



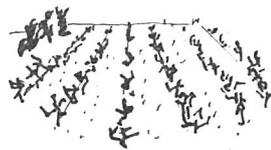
開発センター及庁舎建設事業
1億1千3万4千円

杉山水道施設
750万円



至白鷹町

桑園造成事業
35万円



【6頁よりつづく】

られなかった。今年はどうな考えですすめるのかお聞きしたい。また転作させると言っても朝日町の場合には容易なことではないだろうと思えます。転作計画あるいは指導態勢をどうするのか、といった点について町の考えをお聞きしたい。

町長 先にも申し上げましたが、示された数量はあくまでも目標だという考えで、強制する考えは少しもありません、これから地区協議会や部落座談会などを通して、これからの農業をどうするか、といった話し合いも十分にやり、納得してもらった上で協力していただく考えです。転作の計画については、農業振興地域の指定にもとづく振興計画なども十分関連させながら、十一月頃までにははつきりしたものを作りたいと思えます。ただ、今年度分は集団で転作するように指導する考えではおられません、時期がおそすぎるといってもあつて、計画的な転作は期待できません。また、指導態勢については、普及所の方でも力をいれていますが、町と農協が力をあわせて一体となつてすすめて行かなければならないと思えます。

生産調整によつて、農家の不安が高まっている。今後の町の農業をどうやるのか、といった基本的な構想を打ち出して、少しでも不安を少なくすることが必要と思えます。また、調整数量なども町

内一率の考えではなく、場所によつて差をつけることも必要と思われるが……

町長 先にも申し上げたが、第二次構造改善なども十分関連させた中で、転作計画なり基本的な構想といふものを早急につくって行きたいと思えます。また、平野部と山間部との減反数量に差をつけるべきだといったご意見ですが、山間部を減反しない方がよいのか、あるいは平野部を多くやった方がよいのか、今後の話し合いなどを通しても十分検討して行きたいと思えます。

農工一体化と過疎対策を

町長は農工一体の町づくりをかかげており、企業の誘致などもすすめているが、今後の見直しをお聞かせいただきたい。

町長 朝日町の条件に適した安定した企業の誘致をすすめております。とくに中高年令層の働ける企業をぜひとも誘致しなければと思えます。現在、誘致が確定しているのはニクニ精密機械工業で、今年十五名がすでに本社の方に就職しており、三年後にはそれらの方々が戻つてきて、町内にできる工場で働くようにするといった予定です。

農工一体化をさらにすすめるために、勤労者のための住宅をつくる、あるいは、山手の部落から

住民一人当りの額

	
総務費 7,121円	衛生費 4,455円
	
商工費 598円	教育費 7,053円
	
	消防費 1,043円
	
議会費 1,034円	民生費 2,896円
	
土木費 2,956円	農林水産業費 13,589円
	
災害復旧 78円	公債費 1,639円

中心部に出てきたいという人たちのために公営住宅をつくる、といった考えはないか。

町長 過疎対策事業の一つとして宅地造成などもぜひ考えたいと思えます。また勤労者のための住宅なども今後の計画の中にもりこんで行きたい考えです。

助役 いま集落移転の問題がおきているのは、一ツ沢地区でないかと思えます。この前に一ツ沢に行つて話し合いをしてきたが、将来は部落を出たいという考えの人がほとんどのようにでした。しかし、できれば町内にとどまりたいという人も多いので、町としても宅地を造成してそうした人たちのために提供するか、仕事の世話をす

るとかといった手だてをして行きたい考えです。春になって出かせぎから帰られたらもう一度話し合いをすることになっているが、先行投資によつて宅地造成をするとか集落再編成などの過疎対策に積極的に取り組まなければならぬ段階にきているのではないかと思えます。

また、レクリエーション施設をぜひつくってほしいといった若い人たちの要望があるが、若い労働力を地元に残す、農工一体化をさらにすすめるという意味でも体育館などそうした施設の設置が必要と思われま

先んじて投資をやって土地の造成などをすすめるための開発公社を

民具の保存を

つくると言つたが、その内容はどうなつてゐるのか。
町長 近日中に公社設立の認可が下りるはずで、朝日、大江、西川の三町が共同出資して、土地取得などの事業をすすめることになっております。どんな事業をやるかといった計画は各町村でつくることになってゐるが、本町では工場用地などの土地の先行取得をすすめる予定です。

住宅の改築などによつて、古い家屋や民具、民芸品などがどんどん少なくなつてゐる。町史資料としても大切なものであり、保存を考へて行くべきと思ふが……

町民の声



農工一体化に思う

町では今、過疎対策の一つとして、あるいは農工一体の町づくりとして企業の誘致を積極的にするつもりでおり、喜ばしいことと思います。さらに、農工一体化を促進するために、今年からは先行投資で土地の確保などをすすめること、当を得た施策であると思われま。

ところで、聞くところによると土地の先行取得は、町内数カ所を分散取得するような計画とのことですが、もし事実とすればもう少し考え直すべきではないかと思えます。

今は、西部・北部・中部といった地域的なことにこだわる必要はないはずで、地元意識を捨てて朝日町一つになった考えが必要と思うのです。町の将来を見渡した基本的なビジョンを

できる開発センターにも展示室を考えておきますし、今後も町史の編さんなどあわせて考えて行きたいと思えます。

教育長 古文書や町史資料の収集はぜひすすめた考えです。文化

財保護委員会などにもお願いしているが、民具などは各学校にも協力してもらって、収集したいと思っております。

朝日病院に暖房設備がつくられて、利用者は非常に喜んでいて、その計画にもとづいて町内の一カ所に広い工場団地をつくるのが望ましいと思えます。

その方が効果のある投資ができるし、安定した企業の誘致も可能になってくるのではないだろうか。さらに、勤労者のための住宅や宅地をつくって、ほしい人に供給するといったこともすすめられれば、安心して誘致企業への就労もできるものと思われま。

また、企業の倒産などの話も聞かれますが、誘致にあたっては企業の内容や将来性を十分調査して、すすめてほしいと思えます。

以上、思うままに申し上げますが、町当局の考えなどお聞かせいただければ有難く思えます

西部 岩松 岳雄

町からの答え

ご意見ごもっともでありまして工場用地の先行取得にあたっては、町内のもっとも適する場所に大団地をつくることも大切かと思えますが、一つの基幹産業を中心に、いくつかの工場が有

る。しかし、夜間は暖房が切れるので豆炭アンカなどを使わなければならぬといったことを聞いたが、昼夜を通した暖房はできないのか。

町長 たしかに利用者からは好評の機に結ばれる工業団地は内陸においては山形市近郊又は東根地区に、海浜では酒田、鶴岡地区と予想されており、当町までこうした工業大団地づくりの構想を持つことは一寸無理であると思えます。したがって小規模の団地(清水地区)づくりをすすめると共に、一方においては立地条件に応じて分散することもやむを得ないことであると考えております。この場合、美しい田園風景をそこなはないよう特に注意が必要であります。同時に分散したことによって、その地域の中高年齢層や、パートタイマーの労働力吸収に便であるというような、将来における工場の立地条件にかなう面もあることを見のがしてはならぬと考えます。

次に就労者の便宜のため勤労ホーム、勤労者住宅の建設などの必要性はお説のとおりでありまして、過疎問題に関連する集落の再編成ともならみ合せ、適地の造成と共に積極的にこれら建設を推進したいものであります。(町長)

町長 民具などの保存はたしかに重要なものだと思います。新しくうけており、思いきって暖房を設備してよかったですと思っております。燃料費の節約などを考えて、夜間は余熱利用をしておりますが今お聞きしたような問題もあるようですので、今後検討したいと思えます。

医師の確保もでき、病院運営も軌道に乗ったわけですが、この機会に設備医療機器の整備をすすめるべきではないか。

町長 たしかに病院の建物なども

小作料協議会が つくられる

いままでは、小作地の一筆毎に小作料の最高額が定められていてそれ以上の小作料で契約してはいけなかったものです。

それが社会の情勢が大きく変ってきたことや農業経営の内容なども多様化してきている、といったことから農地法が一部改正され、新しく結ぶ貸借契約の小作料は地主と小作者の間でおたがい納得のうえ自由に定められるようになりました。

といったも、農業委員会でできる標準小作料を目安としており、田圃の場合、標準より三割をこえる小作料になったときはもっと安くするように農業委員会で勧告す

古くなっており、計画をたてて改築整備をすすめて行きたいと思えます。

老人に対する医療給付の拡大は考えていないか。

町長 老人に対しては十割給付にしたいという要望もあり、国保運営委員会でも検討してもらっております。しかし、いろんな問題もあって今年は見送る予定ですが、国においては給付改善を考えており、それらとあわせて来年度あたりから実施して行きたい考えです。

ることになっております。そうしたことから、標準小作料の額をきめることが重要になってきますが、朝日町では、標準小作料協議会を設置することになり、このほど委員の選任が行なわれました。

小作料協議会委員名

- 会長 岡崎文右エ門(下芦沢)
- 副 小野 清次(大谷)
- 委員 布施正(助ノ巻)
- 阿部三右エ門(立木) 長岡
- 石五郎(大谷) 田原真稔(舟渡)
- 北山光誠(下芦沢)
- 海野博(宇津野) 阿部秀雄(常盤)
- 海野唯寿(能中)
- 成原半七(大町) 布施竜五郎(松程)
- 菊地正憲(地域普及主任)

教育 レポート

通学路を再点検しよう

子どもたちを事故から守るには

いよいよ四月になりました。この月は新しい会計年度に入る月であると同時に、本格的な農作業にはいる月、入学進学の月でもあります。とくに新しく小学校にはいられた子どもさんを持つ親にとっては、通学途中に交通事故にあいはしまいか、といった心配も出てきます。そうしたことから、今月は通学路の安全確保について考えてみることにしました。

ふえた交通事故

- 。よつたらにぎるな車のハンドル。
- 。まで「二十秒」もう一度たしかめよう。
- 。この先学校ありスピード出すな。
- 。車の前うしろ急にとびだすな。
- 。左右よくみてわたろう横断歩道。
- 。危い 急に車はとまらない
- 。横断歩道笑顔でゆずれば笑顔で渡る。
- 。みとおしきいてもスピード出すな。
- 。道路を歩く時はいつも一列
- 。一秒のすき事故まねく。

止まって左右を見てわたろう。

- 。あぶないあぶない道路で遊んじやいけないよ。
- 。タイヤ・ブレーキたしかめてハイ発車。
- 。注意 この先は大通りですよ。
- 。せまい道だゆっくり通れ。
- 。よそみせず酒のまずいつも安全運転。
- 。あぶない道路は遊び場じゃないんだよ。
- 。気をつけるスピードゆるめる村の中。
- 。和合小学校を中心とする国道一八七号線に見られる交通安全標語である。
- 。これは学校の児童から募集した作品の一部であるそうだ。

いつの世でもひとの命ほど尊く又大切なものはない。いよいよ春四月、又元気な新しい園児が、新しい一年生が通学するようになる、新入学時に多い子どもの交通事故を未然に防いでゆくことが私たち町民に課せられた課題でもあります。

子どもたちは

訴える

- となりの大きいにいちゃんは、こうこうせいです。いつもバイクのついでいますが、スピードはだしません。だからバイクはいつもびかびかだ。
- ぼくのお母さんは雨ふりに、こもりをわたしてくれるとき、じどう車にちゅういしなさいと口うるさくいます。
- 僕たちは、いつも右がわをならんであるくがおとなの人は左がわをへいきであるく人がおります。どうしてだろうなあ？

【自動車の激増によって、交通事故の発生も多くなっている】



○ わたしの兄ちゃん はバイクを買ってもらったが、いつもヘルメットをしつかりつけてからのつて行きます。ヘルメットをつけるとけがをしないんだそうだ。カッコイイ。

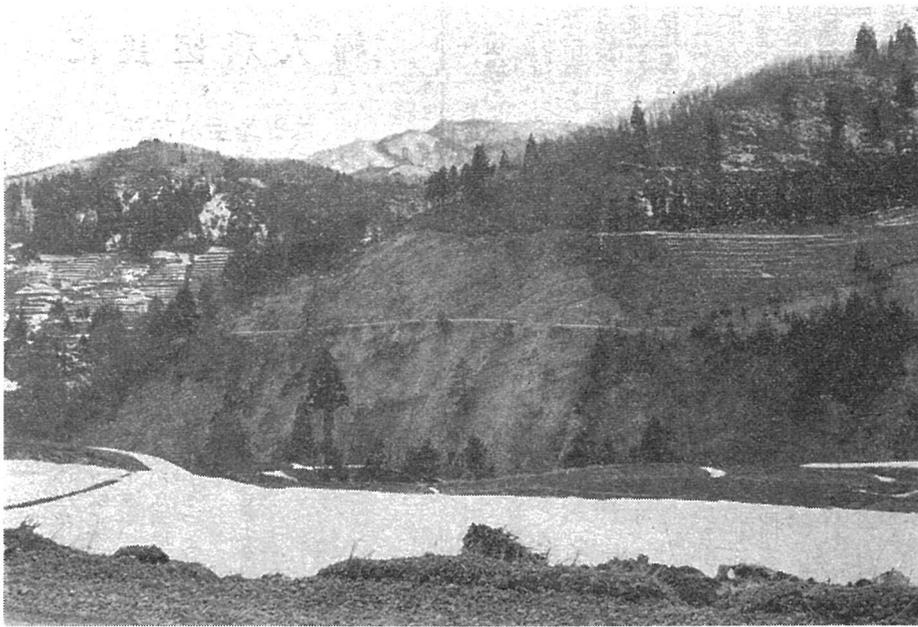
○ 一郎くんはぼくと友だちです。一郎くんは朝でかける時、いつも自転車のブレーキをしらべるくせをつけています。ぼくも見ならなければなりません。

○ 私のお母さんは学校へ出かける時、いつもにこにこして「いってらっしゃい」と言ってくれるので気分がよい。しかられたりするととちゅうで車にぶつかりそうになる。

危険な通学路

も 多 い

- 私は自転車通学生ですが、学校でたててくれた赤旗の場所に来ると、身がひきしまつて周囲に気をくばるようになります。
- 通学路の途中に大がけがありますが、小石が落ちてきてころころちらばっています。そこを通る時私はいつも自転車をおりてひいて通ります。



【町内には危険な通学路が多い。国道から見た県道左沢～今平，長井線】

おばあちゃんは、とんでもないところをおうだんするのでぼくはひやひやします。「おうだんほどうはみちに白いせんがかいてあるからここをわたるんだよ」とおしえてやりました。

○ 私たちの通学路には高いがけが

あります。「落石」と書いた赤い標識がありますが、それを見るとはっ！と気がつき必ずがけ上を見ながら通ります。

○ おねえちゃんはこんど自転車通学するんだそうです。学校まではとおいのでたくさんあぶないと

ころを通ります、自転車が足の高さで合わないとなかなかのりにくいので自転車やさんからお借りてもらいました。

○ にいちゃんのでんしゃは、チリンチリンがならないので、ぼくちゆういしたら、しかられた。

○ ぼくの家のかどにかがみがあります、けんちゃんが雪だまぶつつけているので注意してやった。このかがみは自動車には大せつなものだそうです。

○ わたしの家の前が雪ですべるので土をまいてやった。わたしはよいことをしたとおもって気持ちよかったです。

○ 国道で自転車のりをするとスピードが出ておっかない。だから、アスファルトでは自転車あそびはしないことにしました。

大人たちが 手本を示そう

家の前でキャッチボールをしているとよく通路にタマがころんできていきます。ぼくはそんな時、すぐタマをおっかけないで左右をよく見てからゆっくりとりに行くことにしております。

○ おとうさんの車にのって山形に行った時、国道にねこが死んでい

るのを見ましたが、ほんとうにかわいそうでした。「ねこは左右をみないでとび出すからだよ」とおとうさんがおしえてくれました。ぼくもあんなことになつたら、お母さんがかなしむだろうとおもいます。ぼくはぜったいにきゅうにとび出しません。

○ 車の中から手を出したり、よそ見をしてうんでんしているおじさんやぼくをよくみかけます、あぶないなあ。

○ 私たちが一列に右がわあるいてると、ものすごいスピードで、かけぬける車があります。そんな時、車のうしろにすいこまれそうになります。どうしてそんなに急ぐ用事があるのかなあ。

この純心な子どもたちの声を、私たち大人はもう一度よくかみしめてみようではありませんか。世界第二の経済発展と相まって近代交通の発達が目まぐるしく私たちの生活にぐい込んで来ます。

無限の可能性を秘めながら二十一世紀にはばたこうとしている将来ある子どもたちを守るため、私たち町民はもう一度郷土の通学路の総点検をし、交通道德のあり方を反省してみようではありませんか。

× ×

町 村 別 各 候 補 者 の 得 票 数

	鈴木正昭	上田いくお	阿部武夫	池上久治郎
朝日町	38	1,158	6,630	137
大江町	44	5,759	1,587	605
西川町	70	885	163	5,741
河北町	10,200	1,450	400	1,400
合計	当選 10,352	当選 9,252	当選 8,780	次点 7,883

県議会議員 選挙速報!!

統一地方選挙である県議会議員の選挙は、四月十一日に行なわれました。とくに、朝日町の場合は「県議会に地元の代表を送ろう」といった今までにない盛り上がりや出稼先からの不在投票も多くあり、九三・四四票という、郡はもちろん県一の高い投票率になりました。

婦人科医長に

佐野先生が着任

空席となつていた朝日病院婦人科医長に佐野力先生(医学博士)が着任されることになりました。

これで内科・外科・婦人科と三人の先生がそろい、さらに充実した町立病院となったわけですから、



勤めてい
ただける
ものと
思います。

こんどおいでになる佐野先生は栃木県烏山町の出身(昭和医大卒)で、奥さんと共に病院住宅に住まわれる予定ですが、美しい水と空気と緑の豊かな環境が大好きと言つておられ、きっと私たちのために

役場の人事異動

- ◎病院婦人科医長佐野力(栃木県)
- ◎住民課々長渡辺達夫(振興課事業係長) 同住民係長岡秀行(病院庶務係長) 同主事補池田伸一(税務課主事補) 同看護婦菅マサ子(新採・大滝) 同清掃車助手松尾六郎(管理課用務員) 同主事補堀幸雄(新採・大森山)
- ◎振興課 事業係長多田賢司(住民課住民係長) 同主事長岡捷治郎(建設課)
- ◎建設課 主事阿部忠男(住民課主事補)
- ◎税務課 主事補菅井和広(住民課同) 同主事補富樫清志(新採・元町)
- ◎管理課 主事補鈴木裕美(新採・西舟渡)
- ◎農業委員会 主事補清野哲治(病院同)
- ◎教育委員会 主事補熊谷貞則

(新採・新宿)

- ◎病院 庶務係長兼務渡辺久喜(同医事係長) 同主事補清野正幸(税務課同) 同主事補渡辺照子(新採・大谷) 同看護婦柏屋純子(新採・元町) 同検査士村山陽子(新採・上郷)
- ◎保育所 中部保育所保母小関きく子(北部同) 北部保育所保母大井きよ子(中部同)
- ▽退職 和合小学校用務員氏家かちの

泰平一家



戸籍の窓

出生

昭和46年2月1日~2月28日まで
部落氏 名 父 名 続柄
大谷 長岡 泰 毅 長男
栄町 渡辺 淳 正行 長男
高田 佐竹 祐子 庄吉 長女
西船渡佐藤 弘美 信明 長女
和合 後藤 洋人 治三郎 長男

死亡

昭和46年2月1日~2月28日まで
部落氏 名 年齢 世帯主
昭 成原 源蔵 82 武蔵
高田 鈴木 伝八 62 満
大舟木岩田 真也 0 輝夫

婚姻

昭和46年2月1日~2月28日まで
川通 新宿
志藤 修治 佐藤 久子

恵まれない人たちに

贈りもの

—大滝の子どもたち—
このほど、大滝部落の子どもの代表者(柴田とみ子さん)が役場を訪ずれ「恵まれない人

たちのために使つて下さい」といつて現金三千十二円を寄贈されました。

雑巾寄贈

大舟木分校

柴田さんたちは、部落の子供会(中学生のみ)の事業として廃品回収を行ない、収益金の使いみちについて相談した結果「恵まれない人たちに贈ろう」ということになり、こんどの寄贈になったものです。町では柴田さんたちの善意に感謝し、社会福祉協議会に贈り有効に使わせていただくことになりました

長岡さんは、こうして毎年手縫いの雑巾を贈られているもので、学校では心から感謝しております。

人口のうごき

(2月末日現在)

世帯数	2,793戸
総人口	12,788人
男	6,284人
女	6,504人